

前線に伴う降雨による防災情報（第1報）

新庄河川事務所では8月9日（日）10時10分、赤川流域の荒沢、皿淵、荒沢ダム、蘇岡雨量観測所において、降り始めからの雨量が80mm、赤川流域の枳形雨量観測所において120mmを超え、かつ鶴岡市で大雨警報が発令されているため、警戒体制（砂防）に入りました。今後、天候の状況を見て砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制について

10時10分 警戒体制（砂防） 災害対策支部設置

※注意体制：連続雨量80mmに達し土砂災害のおそれがある場合

※警戒体制：連続雨量120mmに達し土砂災害のおそれがある場合

3. 雨量情報

10時10分現在

赤川流域	枳形雨量観測所	累加雨量128mm
	蘇岡雨量観測所	累加雨量101mm
	荒沢ダム雨量観測所	累加雨量96mm
	皿淵雨量観測所	累加雨量92mm
	荒沢雨量観測所	累加雨量94mm

4. 今後の見通し

今後、新たな情報が入り次第お知らせします。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町5-55
TEL:0233-22-0262（調査課）
砂防関係： 副所長（砂防担当） 木村 晃 （内線205）